

プレイベント参画及び『小津安二郎日記（仮称）』の発刊

○小津安二郎日記（仮称）の仕様等

内容	「大正7・10年の日記」を基に注釈を挿入する形式		
ページ数	226 ページ	（本文 220 枚、カラーグラビア 6 ページ）	
サイズ	A5		
書籍用紙	PUR 製本、見返しあり		
発行部数	1,000 部	（うち、販売：800 部、謹呈等：200 部）	
販売予定価格	1 冊	1,800 円	

※小津監督の日記をモチーフにした書籍はこれまで多く出ているが、松阪時代に特化して完全網羅したものは見当たらない。松阪市で過ごした多感な十代は人格形成において重要な時期にあたること、また当時の松阪の地名や風景が描かれていることなどから注釈付きの構成にすることで、研究書としてまた小津監督と松阪の関係を広く世間にアピールする発行物としていく。

○イベント（予定）

開催時期	令和4年12月頃		
開催場所	銀座松竹スクエアなど（東京都中央区）		
内 容	『小津安二郎日記（仮称）』発刊のPRと販売 文化・観光PRと全国の関係団体等との交流		
主な全国の顕彰拠点	古石場文化センター（江東区）、 無藝荘/蓼科観光協会（茅野市）、茅ヶ崎館（茅ヶ崎市）、 鎌倉文学館（鎌倉市）、おのみち映画資料館（尾道市）		

○事業費とその内訳

事業費	1,996 千円		
予算内訳			
<歳 入>	540,000 円		
販売収入	印刷初年度目標冊数	300 部	$300 \text{ 部} \times 1,800 \text{ 円} = 540,000 \text{ 円}$
<歳 出>	1,995,500 円		
報償費	執筆指導者、プレイベントゲスト等（6 名）	400,000 円	
旅費	職員 2 名分（東京）	89,000 円	
印刷製本費	プレイベント・発刊告知用チラシ等	311,000 円	
	製本	$1,070 \text{ 円} \times 1,000 \text{ 部} \times 1.10 =$	1,177,000 円
通信運搬費	ゆうパック	$370 \text{ 円} \times 50 \text{ 関連施設} =$	18,500 円